

# 堂谷津の里から

堂谷津の里では、5月末から6月中旬にかけて植えた稲が8月初旬に出穂し、ほぼ40日強で成熟期を迎えます。今年の7月は降水量が平年の23%でしたが、5月から6月にかけての多雨、2019年の渇水対策の効果もあってか、地下水位が比較的高く保たれ、生育状況は順調です。一方で、コナギが密生し、その影響が心配です。今後、その要因を検討していきます。今年のホタルの飛翔は、池奥では少なかったものの、上の田、ヨシ原などの山側に多数見られ、ホタル観賞を楽しむことができました。引き続きホタルの生息環境の整備を進めていきます。今回は会員からの寄稿、2件を掲載します。堂谷津の里の田の藻類、森の樹種の調査報告です。

## 【田んぼでは】



出穂



コナギが密生



案山子に見守られて成熟中

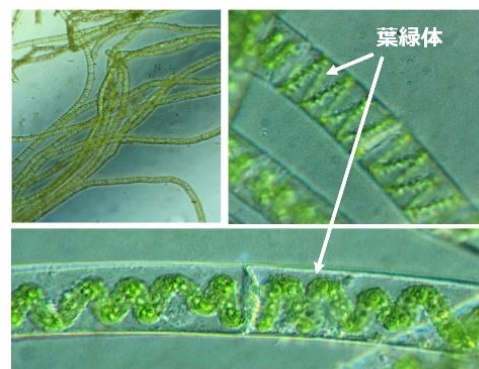
## 寄稿 1

### 水田に見られる藻類は1種類ではありません

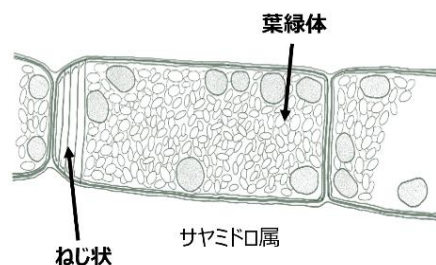
#### 橋本

水田に発生する緑藻類には、代表的なものとして、アオミドロのほかにサヤミドロやアミミドロなどがあります。それぞれの属には複数の種が存在しており、専門家以外では同定は困難でしょう。しかし、属レベルであれば、ある程度見分けることが可能と思われます。この早口言葉のような3つの緑藻類について、形態的な特徴を挙げました。

肉眼で観察して、網目状の構造であればアミミドロ属、分枝のない糸状の構造であれば、アオミドロ属かサヤミドロ属です。後者の2つの属は顕微鏡観察で区別します。アオミドロ属は、円筒形の細胞の中に葉緑体がりボン型でらせん状に配置しています。サヤミドロ属は、円筒形の中に米粒状の葉緑体が充満しています。また細胞の片側にねじのような構造が見られます。



アオミドロ属



サヤミドロ属

ねじ状

田んぼの環境により、年ごとに発生する属は異なることもあり、また混生することもあります。どのような環境で、どの属が発生するのか、気になるところです。

写真・図：橋本



アマミドロ属

## 寄稿 2

### 堂谷津の里にある樹木

五十嵐 博

この里の森で活動を始めて5年、ここにはいったい何種類ぐらいの樹木があるのか調べてみることにした。

その結果、ざっと50種以上あることが分かった。結果は表の通りで、これらの樹木の輪切り断面見本及び樹皮見本を作製した。

(見本写真の詳細 ホームページ / 里山林整備/堂谷津の里の樹木 参照)



No.	樹木名		No.	樹木名	
1	コナラ	落葉高木	27	イヌガヤ	常緑小高木
2	クヌギ	落葉高木	28	ヤマグワ	落葉小高木
3	シラカシ	常緑高木	29	ゴンスイ	落葉小高木
4	アカガシ	常緑高木	30	エゴノキ	落葉小高木
5	イヌシデ	落葉高木	31	モチノキ	常緑小高木
6	エノキ	落葉高木	32	クサギ	落葉小高木
7	ムクノキ	落葉高木	33	ヒイラギ	常緑小高木
8	シロダモ	落葉高木	34	ヌルデ	落葉小高木
9	ケヤキ	落葉高木	35	ニガキ	落葉小高木
10	スダジイ	常緑高木	36	マユミ	落葉小高木
11	コブシ	落葉高木	37	カクレミノ*	常緑小高木
12	ホオノキ	落葉高木	38	ヤマツツジ*	落葉低木
13	ヤマザクラ	落葉高木	39	ヒメコウゾ	落葉低木
14	ウワミスザクラ	落葉高木	40	ヒサカキ	常緑低木
15	イヌザクラ	落葉高木	41	アオキ	常緑低木
16	イロハモミジ	落葉高木	42	ヤマコウバシ	落葉低木
17	カキノキ	落葉高木	43	ハナイカダ*	落葉低木
18	クリ	落葉高木	44	サワフタギ	落葉低木
19	ネムノキ	落葉高木	45	サンショウ	落葉低木
20	センダン	落葉高木	46	ムラサキシキブ	落葉低木
21	クマノミズキ	落葉高木	47	ニワトコ*	落葉低木
22	アカメガシワ	落葉高木	48	ガマズミ*	落葉低木
23	マルバヤナギ	落葉高木	49	ニシキギ*	落葉低木
24	スギ	常緑高木	50	ネズミモチ*	落葉低木
25	ヒノキ	常緑高木	51	イヌツゲ	常緑低木
26	サワラ	常緑高木	52	ナンテン*	常緑低木

\*印の樹木についてはサンプルなし

※寄稿文、図の無断転載禁止

<情報コーナー>

今年の稲刈りは、通常作業日9月16日(土)の9時から実施します。多数ご参加下さい。

NPO 法人バランス 21

E-mail:yatosatoyama@gmail.com

URL :https://balance21.jimdo.com/

連絡先：千葉県若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)